

おおの さくたろう 大野 作太郎 (1886~1968)



地質学者。教育者。北宇和郡下鍵山村(現、鬼北町)出身。明治41(1908)年、愛媛県師範学校(現、愛媛大学)を卒業し、北宇和郡の小学校教員、校長を歴任した。

大正10(1921)年、宇和島で聴いた第三高等学校(現、京都大学)の、当時地質学の権威であった江原真伍教授による講義がきっかけで地質学に興味を持ち、南予地方の地質調査や化石採集に尽力した。中でも大正12(1923)年、東宇和郡魚成村田穂(現、西予市)で発見したアンモナイトは、「地質学上、世界的に貴重な発見」と注目され、江原教授により作太郎の名をとって「ミーコセラス・オオノイ・エハラ」と命名された。作太郎が愛した「自然の声を聴け」の言葉のとおり、地道なフィールドワークを続けたことによるこの発見は、市井の研究者の地位を高める成果の一つとなった。

略歴

- 明治19(1886)年9月7日 北宇和郡下鍵山村に生まれる。
 明治41(1908)年3月 愛媛県師範学校を卒業
 北宇和郡の小学校教員、校長を歴任
 大正8(1919)年 日吉尋常小学校(現、鬼北町立日吉小学校)校長になる。
 大正10(1921)年 第三高等学校の江原真伍教授に地質に関する講義を受ける。
 大正12(1923)年 東宇和郡魚成村田穂でアンモナイトを発見する。
 昭和5(1930)年 論文「四国の地質」を江原教授が発表し、作太郎が発見したアンモナイトが「ミーコセラス・オオノイ・エハラ」と名付けられた。これにより、広く南予地方の地質が知られるようになった。
 昭和43(1968)年11月29日 82歳で永眠

(写真提供：鬼北町教育委員会)

〈関連図書〉

- ・日吉村教育委員会『ひよしの文化財』(第一集) 日吉村教育委員会 1982年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』 愛媛県 1989年
- ・日吉村誌編纂委員会『日吉村誌』 日吉村 1993年
- ・『発掘えひめの人ー近代を拓いた101人ー』 愛媛新聞社 2002年

〈主な収蔵資料〉…(P196, 14~15)

〈ゆかりのある場所〉…(P270, 27)

〈関連施設〉…大野作太郎地質館

〒798-1502 愛媛県北宇和郡鬼北町下鍵山427 明星ヶ丘 TEL: 0895-44-2666